

●世界の主な地震

平成 26 年（2014 年）11 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

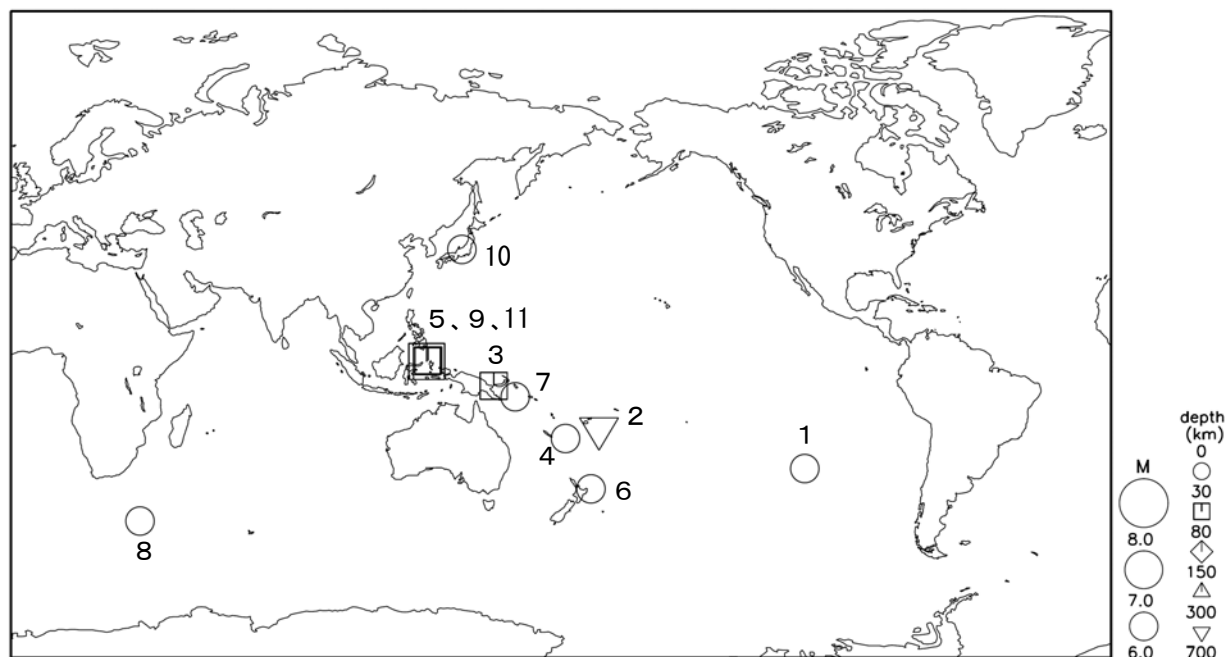


図 1 平成 26 年（2014 年）11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- * : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2014 年 12 月 1 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- ** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- *** : マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 26 年（2014 年）11 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	11月01日19時59分	S31° 49.3′	W111° 10.7′	10			6.0	イースター島			
2	11月02日03時57分	S19° 41.7′	W177° 43.7′	434			7.1	フィジー諸島			
3	11月07日12時33分	S6° 02.6′	E148° 12.5′	43			6.6	バブアニューギニア、ニューブリテン			
4	11月10日19時04分	S22° 46.4′	E171° 26.7′	10			6.1	ローヤリティー諸島南東方			
5	11月15日11時31分	N1° 55.6′	E126° 32.8′	35			(7.0)	モルッカ海		○	○
6	11月17日07時33分	S37° 40.9′	E179° 41.1′	22			6.7	ニュージーランド、北島東方沖			
7	11月17日10時06分	S9° 33.1′	E155° 09.0′	25			6.1	バブアニューギニア、ダントルカストー諸島			
8	11月18日01時52分	S46° 21.3′	E33° 46.4′	10			6.2	南アフリカ、プリンスエドワード諸島			
9	11月21日19時10分	N2° 16.6′	E127° 03.3′	38			6.5	モルッカ海			
10	11月22日22時08分	N36° 41.5′	E137° 53.4′	5		6.7	(6.2)	長野県北部	負傷者46人など		
11	11月26日23時33分	N1° 55.3′	E126° 31.8′	42			(6.8)	モルッカ海		○	○

- 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2014 年 12 月 1 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Ms の欄に括弧を付して記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- 被害は、総務省消防庁による（2014 年 12 月 1 日現在）。
- 地震発生時刻は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9 時間] である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）を発表したことを表す。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

11月15日、26日 モルッカ海の地震

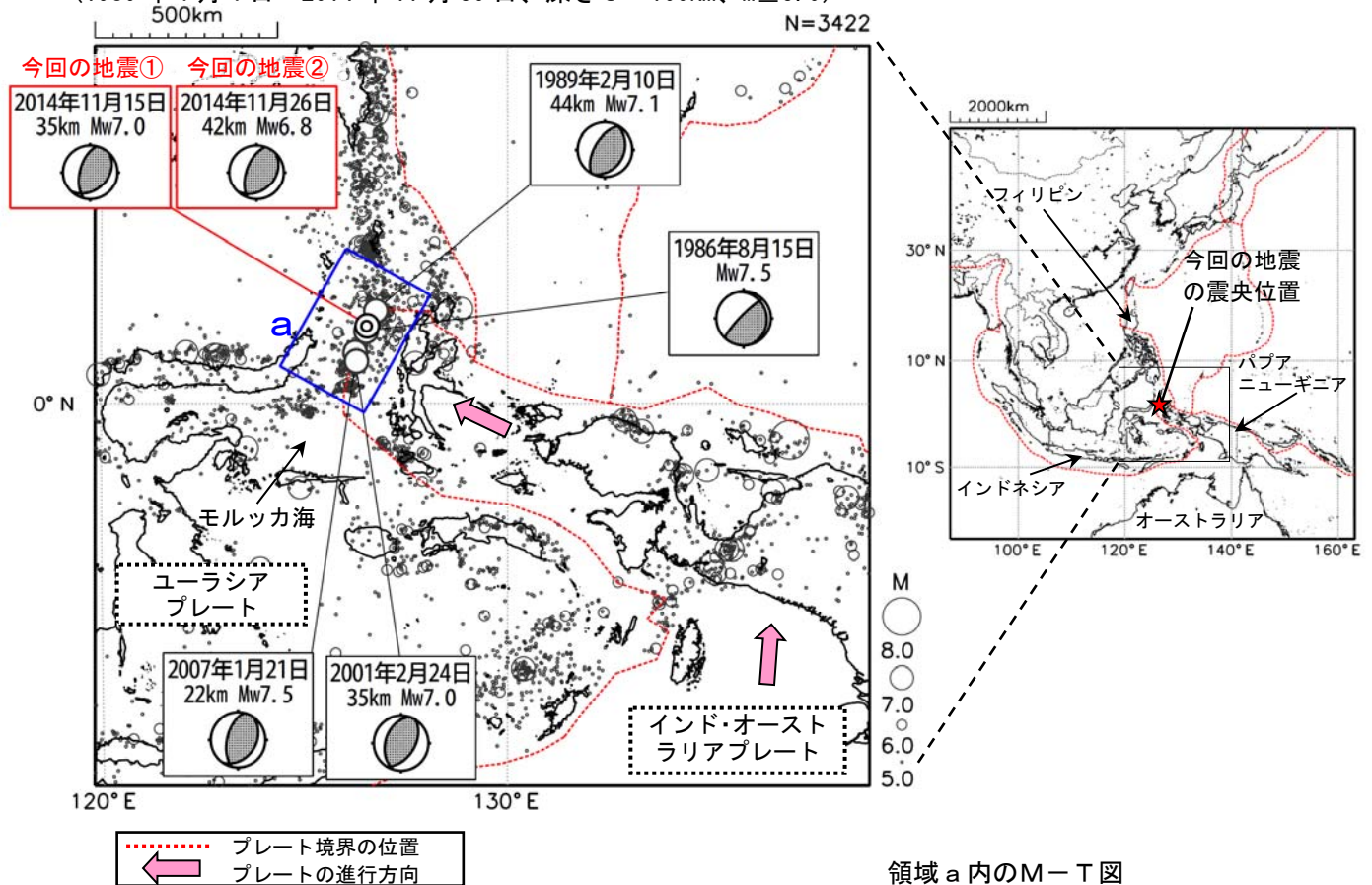
2014 年 11 月 15 日 11 時 31 分（日本時間）に、モルッカ海の深さ 35km で Mw7.0 の地震（今回の地震①）が発生した。また、ほぼ同じ場所で 26 日 23 時 33 分に深さ 42km で Mw6.8 の地震（今回の地震②）が発生した。これらの地震は、共に発震機構（気象庁による CMT 解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

気象庁は15日11時31分の地震について、同日12時02分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「震源の近傍で津波発生の可能性があります。日本への津波の有無については現在調査中です。」）、同日12時56分に同情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。また、26日23時33分の地震について、27日00時03分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

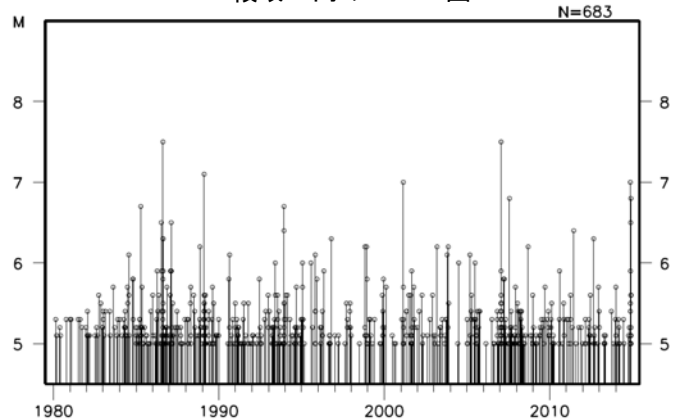
1980 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では M7.0 以上の地震が時々発生している。2007 年 1 月 21 日には Mw7.5 の地震が発生し、死者 4 人、負傷者 4 人などの被害が生じた。

震央分布図

(1980年1月1日～2014年11月30日、深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



領域 a 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震の発震機構（CMT 解）と Mw は気象庁による。その他の地震の発震機構（CMT 解）と Mw は Global CMT による。その他の震源要素及び被害は米国地質調査所（USGS）による。プレート境界の位置と進行方向は Bird（2003）*より引用。

* 参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

気象庁作成